

# 「ランドスケープ作品選集 2026 (No.18)」の投稿募集

“現在”の多様なランドスケープ作品を収録し、業界内外問わず社会へ広く発信することを目的とした、「ランドスケープ作品選集」の応募を開始いたします。ランドスケープに関わる幅広い分野から、ランドスケープ設計界の発展と情報共有のメディアとして重要な本誌への精力的な応募を期待しています。

また、この作品選集の発行・運営は、計画・設計・施工実務をされている学会員の積極的な参加により成立しております。なお、掲載作品より日本造園学会賞候補への推薦も行われます。さらに、掲載作品の応募代表者、応募者（連名者）ともにCPD制度の単位取得がなされます。誌面のさらなる充実とともに、応募経費の減額にも努めておりますので、数多く応募していただけることを期待しております。

## ランドスケープ作品選集 2026 (No.18) 応募要領

### 1. 応募区分

(1) **空間設計部門**：本会正会員により企画、計画、設計され、応募登録時に竣工している設計作品。完成までに長い年月を要する物件において部分的に竣工したもので、イベントなどで期間を限定して設けられ、消失したものについても応募対象とする。

(2) **企画・計画部門**：本会正会員により企画、計画され、応募登録時に業務が完了し、一般に公表されている企画・計画作品。景観や環境の保全や創造を目的とした事業に限らず、広く社会的課題解決に向けたまちづくりに関する事業についても対象とする。

応募作品イメージ：

- ・自然や景観の保護・保全のための環境計画
- ・都市における緑地の保全・創出にかかわる計画
- ・文化財の保全・活用や歴史まちづくりにかかわる企画・計画
- ・市民との連携・協働や公民連携まちづくりのしくみづくり
- ・地方創生や地域活性化のための移住・観光に関わる計画やコミュニティデザイン
- ・健康長寿社会のためのヘルシーパークプログラム
- ・都市施設やまちの持続的運営・利用のプログラム
- ・企画/計画策定における意思決定プロセスのデザイン など

(3) **エイジング・マネジメント部門**：本会正会員により企画、計画、設計され、竣工後、設計意図を満たす空間に達するまでに概ね5~10年以上を要した設計作品（エイジング）。または、維持管理や運営・活用などの継続的な活動により、景観や環境をはじめとした社会的価値の向上を果たした作品（マネジメント）。なお、エイジング・マネジメント部門は過去の掲載作品も対象とする。

応募作品イメージ：

- ・Park-PFI や指定管理者制度等により成熟した公園
- ・地形や樹林の復元、再生を目指した公園
- ・植物の生長、添景物のエイジング等を想定した設計、施工により優れた景観を得た庭園
- ・段階的整備により優れた景観を創出した街区、広場
- ・地域の再生のためのパークマネジメントやエリアマネジメント
- ・環境形成のための継続的活動のマネジメント など

※いずれの部門ともに分野、規模、用途、地域（国外も含む）などは問わない。なお、造園学会賞受賞作品は別途掲載を依頼する。※応募部門について判断に困る際は、メールによる事務局への相談を受け付ける。

※企画・計画部門は、応募者による企画・計画の内容が実際の空間に実現されていることを明確に表現し、写真や図版によるビジュアルプレゼンテーションに注力すること。

※エイジング・マネジメント部門は、審査にあたり経年変化を意図した計画、設計の図面、資料の提出を求める。施工前後や経年観察の資料も用意すること。

### 2. 応募資格

応募代表者は本会正会員であって、応募作品の主要な企画、計画、設計担当者であること。応募者(連名者)には非会員を含むことができる。応募作品の発表については、事前に関係者の合意を得ておくこと。

### 3. 応募件数

1 会員、1 事業所当たり全部門併せて3 件を上限とする。

### 4. 応募方法

(1) 応募登録：2024年11月5日から2025年1月17日の期間に、学会ホームページ内の登録フォームより応募を行うこと。

(2) 作品応募資料提出：応募登録後、メール送付される応募資料作成要領にもとづいた資料を、2025年2月7日までに学会事務局へ提出する。

### 5. 選考方法

選考は、応募区分ごとに行われるものでなく、全作品を横並びにして、総合評価として選考される。選考方法は、造園作品選集刊行委員会による規定審査と、造園作品選集委員会による内容審査の二段階で行う。

規定審査では、①書類規定審査（応募資料が適正か）、②現地規定審査（空間設計部門・エイジング・マネジメント部門を対象に、現況との照合、設計・計画意図が適切に達成されているか、企画・計画部門は、実在の対象地に対する実施妥当性を持つ提案であるか等）を行う。

内容審査では、応募資料と規定審査結果に基づいて掲載作品の選考を行う。選考基準は次のとおりとする。

#### 【選考基準】

- ①プログラムの設定及びプロセスにおける論理性
- ②調査・分析プロセスや計画・設計における手法のオリジナリティ
- ③地域環境の保全・開発に対する貢献度
- ④関連分野との協働性
- ⑤計画、機能、環境、材料、工法などの合理性
- ⑥社会性、歴史性、文化性からみた地域風土、景観への適合性
- ⑦敷地の空間的ポテンシャルの発揚度
- ⑧職能・教育現場への貢献度
- ⑨社会的インパクト
- ⑩ビジュアルプレゼンテーションの創造性・審美性

### 6. 選考結果

選考結果は2025年7月上旬までに応募者に通知する。

### 7. 掲載原稿

執筆要領にもとづいて作成した掲載原稿を、2025年7月下旬までに委員会幹事及び学会事務局へ提出する。

### 8. 作品選集の刊行

ランドスケープ研究増刊号として2026年2月に発行を予定。各作品原稿（見開き2ページ）に刊行委員会による作品評を合わせて掲載する。なお、別刷りは行わず、同誌を有料頒布する。

### 9. 応募料および作品掲載料

(1) 応募料：1 作品 22,000 円（税込）。応募要領資料と同封される振込用紙にて応募資料の提出と同時に納入する。応募登録だけで作品応募を行わなかった場合、事務手数料1,100 円（税込）、振込むこと。

(2) 作品掲載料：応募代表者および応募者(連名者) 1 名あたり11,000 円（税込）を採用通知書に記載された期日までに納入する。

### 10. 掲載時作成負担金

1 作品 55,000 円（税込）とする。

### 11. 著作権

掲載記事の著作権は応募者に帰属するが、その運用については本会が代行する。

### 12. その他

- ①応募登録は学会ホームページ内、登録フォームより行うこと。
- ②掲載決定作品の選考資料、掲載原稿はともに返却しない。
- ③選考資料、掲載原稿作成に要する費用は応募者の負担とする。
- ④選考結果で優秀と判断された作品については造園学会賞選考委員会への推薦を行う。
- ⑤CPD 制度の単位取得数は、教育形態「論文等の発表」の230,235「執筆掲載 学術誌・論文集、査読・審査有り」として、応募代表者：40 単位/件、応募者(連名者)：10 単位/件が認められる。

### 13. 応募・問い合わせ先

(公社) 日本造園学会事務局 造園作品選集刊行委員会  
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-20-11 造園会館6階  
E-mail sakuhin@jila-zouen.org  
委員会幹事 永井 朝樹